

平成 25 年度国立大雪青少年交流の家第 2 回施設業務運営委員会広報部会議事要旨

日時：平成 25 年 6 月 27 日（木）14:00～

場所：旭川ケーブルテレビ株式会社

運営委員出席者：笠井委員，山中委員（部会長），石川委員，尾崎委員，村上委員

計 5 名

欠席者：太田委員，松倉委員

計 2 名

国立大雪青少年交流の家出席者：三上所長，澤田総務係長，遠藤主任，谷崎主任，平間事業企画専門職員

計 5 名

（●事務局 ○部会長 □委員）

●開会宣言

会議時間・資料の確認，欠席委員の報告，施設業務運営委員会広報部担当職員の自己紹介，部会長による議事進行を確認

●部会長による議事進行

○部会長

「新しい公共」型の管理運営及び今年度の部会の役割について並びに，本日の議題について説明していただきたい。

●事務局

1. 「新しい公共」とは、『「支え合いと活気のある社会」を作るための当事者たちの「協働の場」であり，そこでは，「国民，市民団体や地域組織」，「企業やその他の事業体」，「政府」等が，一定のルールとそれぞれの役割をもって当事業者として参加し，協働する。』
2. 今回の「新しい公共」型の管理運営では，多様な主体が，教育施設の管理運営や事業の企画・実施に参画し，様々な形で協力や支援を仰ぎながら，効果的・効率的な教育施設の管理運営を行おうとするものであり，いわば，国と地域が一体となった管理運営を目指すものである。
3. 「支え合いと活気のある」施設をつくるための「協働の場」のひとつとして，国立大

雪青少年交流の家の「広報」を担当するのが「広報部会」の役割。

4. 本日の広報部会の議題は次の4点。

- (1) 企業研修を中心とした新規利用団体の獲得（閑散期対策）について
- (2) メディアを利用した広報について
- (3) Facebook ページの開設について
- (4) ホームページにおける「情報公開」について

○部会長 (1) 企業研修を中心とした新規利用団体の獲得（閑散期対策）について

事前配付資料に企業研修誘致の取組が紹介されているが、これまでどのような取り組みをして、どのような成果があったか、また、今年度の取り組み予定、さらに成果目標をどのように設定しているか事務局から説明願いたい。

●事務局

資料に基づき、平成24年度利用実績及び広報実績、平成25年度利用申込実績・利用目標及び平成25年度の行動計画について説明。

○部会長

事務局の説明について質問、意見、感想を。

□委員

実態として、自身の会社は企業研修を実施していない。反省会程度である。

自身が所属しているクラブとしては、過去に交流の家を利用して勉強会を行っている。

□委員

研修は実施している。専門的な分野での研修であることから、主にNHK東京合宿所（アナウンサーや技術者）、NHK旭川、日本ケーブルテレビ連盟で行っている。

○部会長

少人数の中小企業は、どのような内容の研修を行ってよいか困惑しているのが現状ではないか。近隣の会社の企業主に集まっていただき、説明会を実施し研修内容のPRや普及啓発をしてはどうか。

●事務局

どのような機会が、想定されるか委員に伺いたい。

委員

商工会議所経由で、建設業協会・連盟に相談してみてはどうか。簡単なことから指導してもらえる研修環境をPRできれば、企業側からのニーズが生まれる。

部会長

- ①企業主に集まっていただく説明会（1泊2日）の実施。
- ②交流の家でしかできない研修（プログラム）の提供。その際、温泉も有していることもPR。
- ③閑散期対策にもなることからモデルプログラムを多く提示。
- ④企業主が、実際に経験してみて「良いプランだな」と思えるようなプログラムの提供を協働で検討する。

●事務局

マナー研修や講話等をすべて交流の家が提供するのではなく、コミュニケーションプログラムの1コマを交流の家職員が担当。または、講師の斡旋・紹介等、プラン化したものを提案したい。

○部会長

企業主に集まっていただき、意見を伺い企業のニーズに適合するプランの提供が、一番効率的ではないか。

●事務局

全日程を交流の家で企画する企業研修（プラン）、講師も地元企業等へ交流の家が依頼するなどの工夫も必要。

委員

安全衛生など、内容によっては地元で声を掛ければ講師になる方はいる。事情を伝え、趣旨に賛同していただければ無償で対応してくれる。

○部会長

最終的には、交流の家で複数のプランを用意し、企業に選択していただく方法でPRする。

●事務局

北海道教育大学では、出前講座を実施しているのか伺いたい。

委員

教育に関係する部分が多い。
高校生相手の、教科別の出前講座が多い。

○部会長

お手伝いの気持ちで広報する。
相手の話を聞く事が大切。

□委員

企業研修で、社会人を対象とした場合、情報交換会などでアルコールを提供する研修は可能なのか。

●事務局

場所と時間を定め、提供している。

○部会長（2）メディアを利用した広報について入る。

●事務局

記事の作成、メディアリリースの方法、平成24年度に取り上げられた記事数実績、反応等を説明。

●事務局

前回、道庁の記者クラブへの投げ込みしてはどうか？という意見があったが、現在まだ実施していない。記事が、確実にメディアに取り上げてもらえる方法があったら御教示いただきたい。

□委員

”初めての企画”・”昨年と大きく異なる”・”大きなイベント”など他との違いのある見せ方が必要。情報発信源の乏しい団体を優先して取り上げるため、自治体や公的機関が実施するイベントはリリースされにくい。

□委員

テレビ広報として、映像として流すのは難しい。
映像を秒単位で編集する必要があるため、ほとんどスタッフが手を加えることになる。
非常に時間と手間がかかる。
文字ニュース（放送）であれば、放送可能。
その場合の投げ込みは、FAXで大丈夫。

○部会長（3）Facebook ページの開設について事務局から趣旨説明を。

●事務局

「Facebook」ページの開設について、経緯、運用目的、開設日、運用開始日等について説明。

○部会長

子育て世代を、ターゲットにするなら「Facebook」は有効。

□委員

「Facebook」の維持・管理は大変。

自身の「Facebook」では、最近コメントを削除。

○部会長

1ヶ月間開設し、様子を見てはいかがか。開設して良いか伺う。

□委員

異議なし

○部会長（4）ホームページにおける「情報公開について」事務局から趣旨説明を。

●事務局

ホームページにおける「情報公開について」説明。

○部会長

「議事録」を「議事要旨」に変更して公開。

情報を公開で公開することで、組織が活性化されるなら是非やるべき。

□委員

異議なし

会議終了 閉会挨拶 閉会宣言